

# 北薩地域 循環型社会形成推進地域計画

阿久根市  
出水市  
長島町  
北薩広域行政事務組合

令和 4 年 1 月 7 日

# 目次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
	（1）対象地域.....	1
	（2）計画期間.....	1
	（3）基本的な方向.....	1
	（4）ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況.....	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標.....	2
	（1）一般廃棄物等の処理の現状.....	2
	（2）一般廃棄物等の処理の目標.....	2
3	施策の内容.....	6
	（1）発生抑制、再使用の推進.....	6
	（2）処理体制.....	7
	（3）処理施設等の整備.....	9
	（4）施設整備に関する計画支援事業.....	9
	（5）その他の施策.....	10
4	計画のフォローアップと事後評価.....	11
	（1）計画のフォローアップ.....	11
	（2）事後評価及び計画の見直し.....	11

## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名	阿久根市、出水市、長島町
面積	580.45km <sup>2</sup>
人口	82,231 人（令和 3 年 10 月 1 日現在）

◆図表 1.1 対象地域の面積と人口

市町村名	阿久根市	出水市	長島町	合計
面積 (km <sup>2</sup> )	134.28	329.98	116.19	580.45
人口 (人)	19,427	52,756	10,048	82,231

※住民基本台帳及び外国人登録に基づく人口

### (2) 計画期間

本計画は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

本計画の対象地域（以下、「本地域」という。）の阿久根市、出水市及び長島町（以下、「構成市町」という）は、鹿児島県の北西部に位置し、古来より農林水産業等で栄えた地域で国道や県道、九州新幹線、肥薩おれんじ鉄道などの交通を活用し、全国に向けた食の発信基地としてまちづくりを推進してきた。

生活系ごみについては、ごみの減量化、再生利用、ごみの適切な出し方などに関する啓発を徹底するとともに、各自治体の団体等と協力体制を整え、地域のリサイクル活動を活性化させ、事業系ごみについても、ごみの発生抑制、分別排出の徹底を行い、リサイクル活動の活性化を図りつつ、引き続き循環型社会の構築を目指す。

さらに、循環型社会形成の推進のため、焼却施設の解体跡地にストックヤードの整備を行う。

### (4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

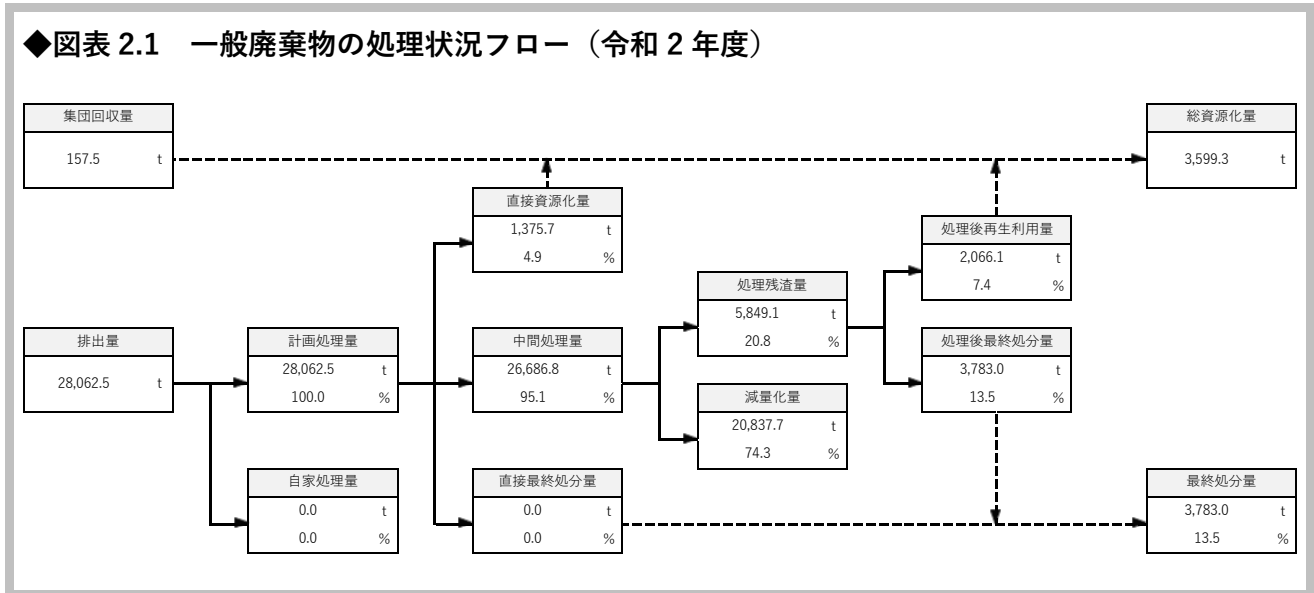
北薩広域行政事務組合（以下、「本組合」という。）では、構成市町のごみを広域的に処理しており、本地域内においてごみ処理施設の集約化が図られているため、基本的には現行の処理体制を維持していく。

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

令和2年度の一般廃棄物の排出・処理状況は図表2.1のとおりである。

なお、焼却施設において発生した余熱については、場内給湯などに利用している。



### (2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、図表2.2のとおり目標を定め、それぞれの施策に取り組んでいく。

なお、図表2.3に目標達成時の一般廃棄物の処理状況フローを示し、参考として、別添資料2にごみの主な指標グラフを添付する。

◆図表 2.2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標 ・ 単 位		現 状 ( 割 合 ※ 1 ) ( 令 和 2 年 度 )	目 標 ( 割 合 ※ 1 ) ( 令 和 9 年 度 )
排 出 量	事業系 総排出量	10,276.0 トン	8,734.8 トン (-15.0%)
	1事業所当たりの排出量※2	2.4 トン/事業所	2.0 トン/事業所 (-16.7%)
	生活系 総排出量	17,786.5 トン	16,014.3 トン (-10.0%)
	1人当たりの排出量※3	186.3 kg/人	163.3 kg/人 (-12.3%)
	合計 事業系家庭排出量合計	28,062.5 トン	24,749.1 トン (-11.8%)
再 利 用 量	直接資源化量	1,375.7 トン (4.9%)	1,977.4 トン (8.0%)
	総資源化量	3,599.3 トン (12.8%)	4,557.7 トン (18.2%)
エ ネ ル ギ ー 回 収 量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量)	-	4,180 MWh
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	3,783.0 トン (13.5%)	3,334.0 トン (13.5%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量 + 集団回収量に対する割合。

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源化量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《用語の定義》

排 出 量 : 事業系ごみ、生活系ごみを問わず出されたごみの量 (集団回収は除く) [単位: トン]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位: トン]

エネルギー回収量 : エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位: MWh] 及び熱利用 [単位: GJ]

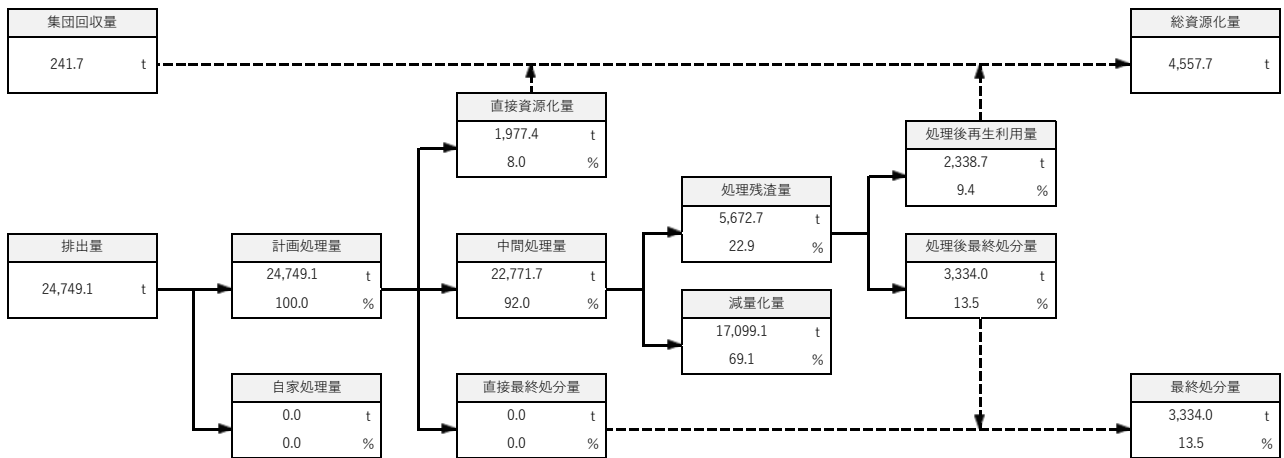
減 量 化 量 : 中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量 [単位: トン]

◆図表 2.2 補足 市町ごとの減量化、再利用に関する現状と目標

指 標 ・ 単 位		現 状 ( 割 合 ) ( 令 和 2 年 度 )	目 標 ( 割 合 ) ( 令 和 9 年 度 )
阿久根市	事業系 総排出量	3,287.0 トン	2,889.1 トン (-12.1%)
	1事業所当たりの排出量	2.5 トン/事業所	2.0 トン/事業所 (-20.0%)
	生活系 総排出量	4,424.2 トン	3,902.7 トン (-11.8%)
	1人当たりの排出量	169.4 kg/人	144.0 kg/人 (-15.0%)
	合計 事業系家庭排出量合計	7,711.2 トン	6,791.8 トン (-11.9%)
	直接資源化量	327.5 トン (4.2%)	369.8 トン (5.4%)
	総資源化量	1,756.6 トン (22.8%)	1,960.8 トン (28.9%)
	埋立最終処分量	915.3 トン (11.9%)	791.3 トン (11.7%)
出水市	事業系 総排出量	6,307.0 トン	5,245.3 トン (-16.8%)
	1事業所当たりの排出量	2.5 トン/事業所	2.0 トン/事業所 (-20.0%)
	生活系 総排出量	11,464.6 トン	10,359.1 トン (-9.6%)
	1人当たりの排出量	190.3 kg/人	167.4 kg/人 (-12.0%)
	合計 事業系家庭排出量合計	17,771.6 トン	15,604.4 トン (-12.2%)
	直接資源化量	903.6 トン (5.1%)	1,402.0 トン (9.0%)
	総資源化量	1,619.7 トン (9.0%)	2,302.8 トン (14.5%)
	埋立最終処分量	2,505.9 トン (14.1%)	2,206.0 トン (14.1%)
長島町	事業系 総排出量	682.0 トン	600.4 トン (-12.0%)
	1事業所当たりの排出量	1.3 トン/事業所	1.2 トン/事業所 (-7.7%)
	生活系 総排出量	1,897.7 トン	1,752.5 トン (-7.7%)
	1人当たりの排出量	165.2 kg/人	148.6 kg/人 (-10.0%)
	合計 事業系家庭排出量合計	2,579.7 トン	2,352.9 トン (-8.8%)
	直接資源化量	144.6 トン (5.6%)	205.6 トン (8.7%)
	総資源化量	223.0 トン (8.6%)	294.1 トン (12.5%)
	埋立最終処分量	361.8 トン (14.0%)	336.7 トン (14.3%)

◆図表 2.3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和 9 年度）



※：端数処理の関係で、合計が合わない場合がある。

### 3 施策の内容

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### ア 有料化

現在、生活系ごみについては、構成市町においてそれぞれ、指定袋を媒体とした排出量に応じて排出者が手数料を負担する方式（均一従量制）により課金している。今後は、各構成市町の生活系ごみ（粗大ごみ含む。）及び事業系ごみの排出抑制とより一層の費用負担の公正性確保のため、料金体系について適宜見直していく。

生活系ごみ及び事業系ごみの直接搬入については、現在重量制で持ち込み量に応じた処理料金を徴収しているが、発生抑制や再利用の推進のため、施設使用料を令和3年4月に改定し、今後も原則5年ごとの見直しを検討する。

##### イ 環境教育、普及啓発、助成

① 住民、事業者に対して、環境出前講座やリサイクル講座などを通じて、ごみの減量化・再生利用・ごみの適切な出し方に関する啓発を行っている。

また、本組合では年2回、リサイクル祭りを開催し、多くの住民に対し、リサイクルについての意識向上、再生利用に関する啓発を行っている。今後さらに、関係団体とも協力しながら、あらゆる啓発活動を行っていく。

② ごみの減量化に関する社会意識を育てるため、学校や地域社会と連携し、ごみ処理施設見学等の教育啓発活動を行っており、今後も引き続き、これらの活動について積極的に取り組んでいく。

③ 集団回収は、地域のPTA、自治会等の住民団体が中心となって実施されている。今後も集団回収活動を継続し、さらに家庭の不用品の売却や交換を行う、フリーマーケット等を積極的に活用しごみ減量化に努める。

④ 集団回収と容器包装廃棄物の分別収集をはじめ、今後、行政が主体となって実施する再生利用（リサイクル）の推進に関する方策との整合については、回収資源物の価値及び負担など、今後の動向を踏まえ、関係団体と協議・調整を図っていく。

⑤ 構成市町の環境美化条例等により、ポイ捨て・食品容器の散乱放置・祭りや大会主催者の責務・土地の適正管理などについて規定している。また、「環境美化推進員制度」によって、環境美化及びごみの減量化・再生資源の有効活用を積極的に推進している。今後さらに、条例及び制度に基づく環境美化マナーなどの周知徹底を図っていく。

⑥ 生ごみの減量化

生ごみ処理容器等の購入費に対する補助金交付制度が出水市及び長島町において実施されており、本制度を継続し、さらに活用を促進させることにより、生ごみ減量化の推進と減量化意識の向上を図る。また、阿久根市においては、生ごみ堆肥化事業を平成26年度から実施しており、循環型社会の推進とごみの減量化に努めている。



## ウ マイバック運動・レジ袋対策

プラスチック製買物袋の有料化や本地域内の商工会議所等と協力し、マイバック運動（買物袋の持参運動）等を推進しているところであり、今後も運動を継続していく。

### （２）処理体制

#### ア 生活系ごみの現状と今後

分別区分及び処理方法については、図表 2.4 のとおりである。

本地域で排出された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみは、本組合が管理・運営する環境センターエネクリン北薩（ごみ焼却施設）及びリサイクルセンターエコリア北薩において処理並びに資源回収を行っている。焼却灰・不燃残渣等については、ごみ焼却施設に隣接する最終処分場で最終処分を行っている。

なお、阿久根市の資源ごみは、民間業者において別に処理及び資源回収を行っている。

また、出水市及び長島町では、食用油やその他紙の回収を行っており、今後、容器包装リサイクル以外のプラスチックの回収なども検討することとしている。

さらに、構成市町衛生担当課による対策会議を設け、ごみ減量に向けて具体的な取組を進めていく。



## イ 事業系ごみの現状と今後

本地域におけるごみ排出量のうち、事業系ごみの割合は、全国平均（約 30%）と比べて高い値（令和 2 年度：約 37%）で推移している。

現在、生活系ごみの分別区分に準じ、収集、処理を行っているが、多量にごみを排出する事業所の実態を把握するため、今後も引き続き、事業系ごみの実態調査などを講じ、多量排出業者への指導の徹底などを行う。

## ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現在、一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物はない。今後も、体制変更の予定はない。

### （3）処理施設等の整備

前述（2）エの処理体制で処理を行うため、図表 2.5 のとおり必要な施設整備を行う。

◆図表 2.5 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間 (全体事業期間)
1	ストックヤード	ストックヤード（マテリアルリサイクル推進施設）整備事業 (旧焼却施設解体工事含む)	約300㎡	鹿児島県阿久根市 多田3771番地1	R5～R7

(整備理由)

事業番号 1：旧焼却施設（旧環境センター）を解体し、その跡地に不用品の保管、補修、再生品の展示を通してリユースを進めるためのストックヤードを整備することにより、さらなる 3R の普及啓発を行う。

### （4）施設整備に関する計画支援事業

前述（3）の施設整備を行うため、図表 2.6 のとおり必要な計画支援事業を行う。

◆図表 2.6 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
1	旧環境センター解体工事事前調査業務	ダイオキシン類及びPCB等の事前調査	R4
2	旧環境センター解体工事発注仕様書作成業務	解体工事の発注仕様書等の作成	R4
3	ストックヤード（マテリアルリサイクル推進施設）実施設計業務	ストックヤードの実施設計	R4

## **(5) その他の施策**

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

### **ア 廃家電及び小型家電のリサイクルに関する普及啓発**

廃家電及び小型家電のリサイクルについては、家電リサイクル法及び小型家電リサイクル法に基づき、適切な回収、再資源化がなされるよう、関連団体や販売店等と協力し、住民への普及啓発活動を行っていく。

### **イ 不法投棄対策に関する事項**

構成市町では、衛生自治関連団体や環境美化推進員をはじめとする地域住民や関係機関とも連携を密にした環境パトロール等を実施し、不法投棄の未然防止とごみの適正処理の啓発に努めている。

今後も地域の自治会などと一体となった普及啓発により、分別区分の徹底を進めるとともに、パトロールの強化や外灯の設置など、不法投棄防止を図っていく。

### **ウ 災害時の廃棄物処理に関する事項**

長島町においては、令和3年3月に策定した「長島町災害廃棄物処理計画」に基づき、災害廃棄物の処理を行う。

阿久根市及び出水市においては、現在災害廃棄物対策指針及び鹿児島県災害廃棄物処理計画に基づき、災害廃棄物処理計画の作成を行っており、令和3年度に策定予定である。災害時には、災害時応援協定等に基づいた広域処理等により災害廃棄物の処理を行う。

## 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

構成市町及び本組合は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて関係機関と意見交換しつつ、計画の進捗状況を勘案し、的確かつ効果的なごみ減量化・資源化を図れるよう計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果がまとまった時点で、計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。  
なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直す。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (令和3年度)

1 地域の概要

(1)地域名	北蘆地域	(2)地域内人口	82,231 人	(3)地域面積	580.45 km <sup>2</sup>
(4)構成市町村等名	阿久根市、出水市、長島町、北蘆広域行政事務組合	(5)地域の要件	人口	面積	沖繩 奄美 霧島 山形 半島 過疎 その他
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	①組合名：北蘆広域行政事務組合 ②組合を構成する市町村：阿久根市、出水市、長島町 ③設立(予定)年月日昭和 58 年 4 月 設立				

2

一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)							目標
		平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和9年度 (見込み)	
排出量	事業系総排出量(トン)	10,964.0	11,288.0	10,597.0	10,562.0	10,276.0	8,734.8 (R2比 -15%)		
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	2.6	2.7	2.6	2.4	2.4	2.0 (R2比 -16.7%)		
	生活系総排出量(トン)	17,811.7	17,861.1	17,733.7	17,899.3	17,786.5	16,014.3 (R2比 -10%)		
	1人当たりの排出量(kg/人)	176.5	179.1	180.6	185.7	186.3	163.3 (R2比 -12.3%)		
合計	28,775.7	29,149.1	28,330.7	28,461.3	28,062.5	24,749.1 (R2比 -11.8%)			
再生利用量	直接資源化量(トン)	1,725.2 (6.0%)	1,562.7 (5.4%)	1,476.6 (5.2%)	1,382.4 (4.9%)	1,375.7 (4.9%)	1,977.4 (8.0%)		
	総資源化量(トン)	3,878.8 (13.3%)	3,871.7 (13.2%)	3,698.7 (12.9%)	3,565.8 (12.4%)	3,599.3 (12.8%)	4,557.7 (18.2%)		
エネルギー回収量	(年間の発電力量 MWh)	-	-	-	-	-	4,180		
	(年間の熱利用量 GJ)	-	-	-	-	-	-		
減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	21,426.5 (74.5%)	22,590.8 (77.5%)	21,122.8 (74.6%)	21,366.3 (75.1%)	20,837.7 (74.3%)	17,099.1 (69.1%)		
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	3,776.0 (13.1%)	2,973.0 (10.2%)	3,746.0 (13.3%)	3,739.0 (13.1%)	3,783.0 (13.9%)	3,334.0 (13.5%)		

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理基本計画との整合に配慮した内容

平成26年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画の推計値と実績値に大きな差があったため、実績値(令和2年度)を基に見直しを行った。

3

現有施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力	竣工年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
熱回収施設	環境センターエネクリン北蘆	北蘆広域行政事務組合	全連続	88 t/日	R3.4	-	-	(浸水深0m)	
	環境センター	北蘆広域行政事務組合	准連続式	120 t/日	H4.7	R3.4	R5~R6	(浸水深0m)	
リサイクル推進施設	リサイクルセンター	北蘆広域行政事務組合	破砕選別	10 t/日	H20.4	-	-	(浸水深0m)	
	エコリア北蘆	北蘆広域行政事務組合	圧縮減容梱包	5 t/日	H20.4	-	-	(浸水深0m)	
最終処分場	一般廃棄物最終処分場	北蘆広域行政事務組合	準好気性埋立	45,247 m <sup>3</sup>	R2.4	-	-	(浸水深0m)	
	最終処分場	北蘆広域行政事務組合	準好気性埋立	56,300 m <sup>3</sup>	H12.2	R3.4(埋立終了)	-	(浸水深0m)	
し尿処理施設	衛生センター	北蘆広域行政事務組合	標準脱窒素	121 k/日	H9.4	-	-	(浸水深0m)	

4

更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設解体の有無(施設名)	廃焼却施設解体事業着手(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
ストックヤード	-	北蘆広域行政事務組合	一時保管	約300m <sup>2</sup>	R8.4	不用品の保管、補修、再生品の展示を通してリユースを進めるため	有(旧環境センター)	完了(予定)年月	R5~R6	(浸水深0m)	旧環境センター跡地に整備

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (令和3年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模	事業期間 交付期間		総事業費 (千円)				交付対象事業費 (千円)				備考		
				開始	終了	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度
○ 再生利用に関する事業	-	-	-	-	-	776,000	290,400	435,600	50,000	0	663,210	0	246,084	369,126	48,000	0
ストックヤード (マテリアルリサイクル推進施設) 整備事業	1	北薩広域行政事務組合	約300 m <sup>2</sup>	R5	R7	776,000	290,400	435,600	50,000	0	663,210	0	246,084	369,126	48,000	0
○ 施設整備に関する計画支援事業	-	-	-	-	-	18,170	0	0	0	0	18,170	18,170	0	0	0	0
旧環境センター解体工事 事前調査業務	1	北薩広域行政事務組合	-	R4	R4	4,080	0	0	0	0	4,080	4,080	0	0	0	0
旧環境センター解体工事 発注仕様書作成業務	2	北薩広域行政事務組合	-	R4	R4	10,130	0	0	0	0	10,130	10,130	0	0	0	0
ストックヤード (マテリアルリサイクル推進施設) 実施設計業務	3	北薩広域行政事務組合	-	R4	R4	3,960	0	0	0	0	3,960	3,960	0	0	0	0
合計						794,170	290,400	435,600	50,000	0	681,380	18,170	246,084	369,126	48,000	0

## 施設概要（マテリアルリサイクル施設系）

都道府県名 鹿児島県

(1) 事業主体名	北薩広域行政事務組合
(2) 施設名称	ストックヤード
(3) 工期	令和 5 年度 ～ 令和 7 年度
(4) 施設規模	
(5) 処理方式	処理能力 約300 m <sup>2</sup>
(6) 地域計画内の役割	不用品の保管、補修、再生品の展示を通してリユースを進める。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

「ストックヤード」を整備する場合

(8) スtock対象物	家具及び自転車等
--------------	----------

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	-
----------------------	---

「灰溶融施設」を整備する場合

(10) スラグの利用計画	-
---------------	---

(11) 事業計画額	776,000千円 うち、交付対象事業費663,210千円
------------	----------------------------------



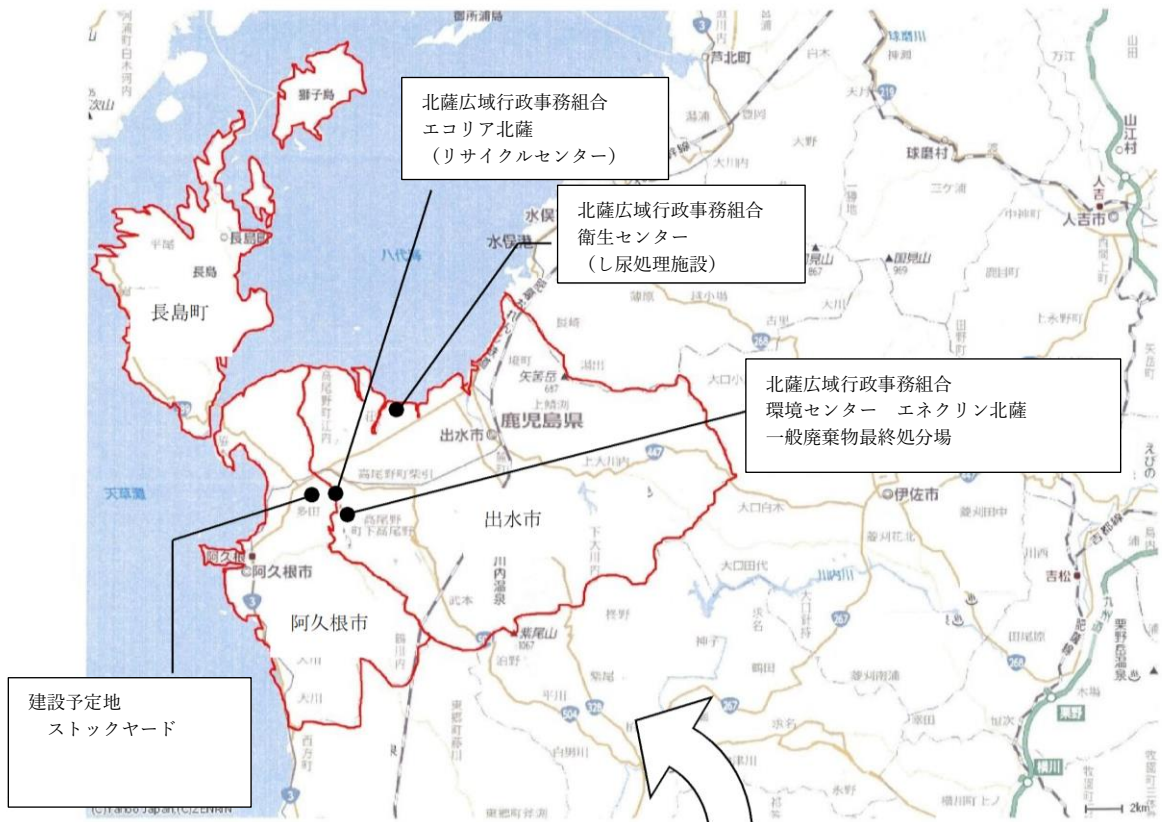
## 計画支援概要

都道府県名 鹿児島県

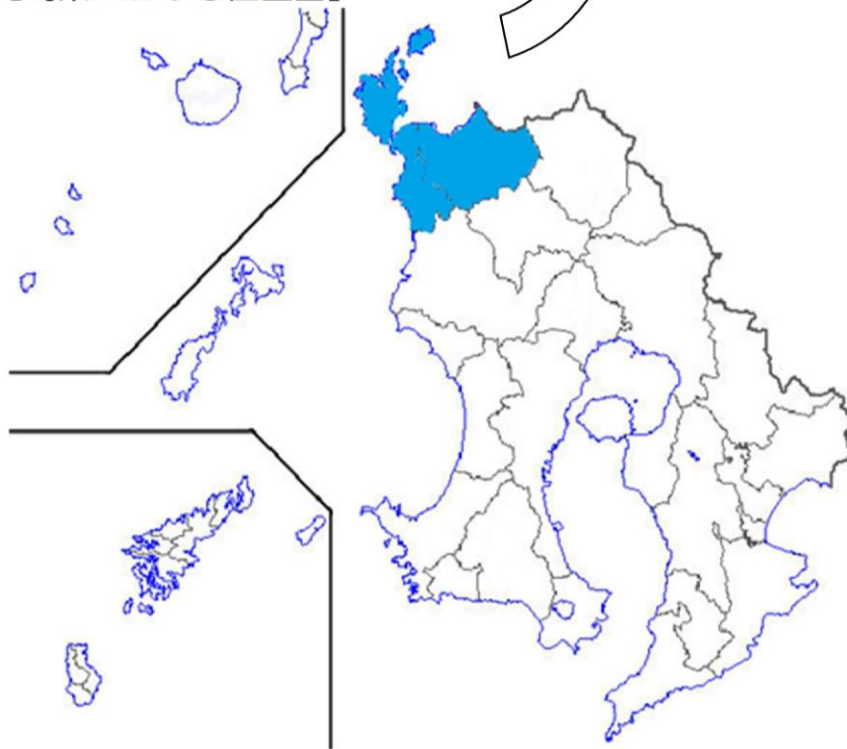
(1) 事業主体名	北薩広域行政事務組合		
(2) 事業目的	ストックヤード整備のため		
(3) 事業名称	旧環境センター解体工事 事前調査業務	旧環境センター解体工事 発注仕様書作成業務	ストックヤード 実施設計業務
(4) 事業期間	令和4年度	令和4年度	令和4年度
(5) 事業概要	ダイオキシン類及びPCB 等の事前調査	解体工事の発注仕様書等 の作成	ストックヤードの 実施設計
(6) 事業計画額	4,080千円 うち、交付対象事業費 4,080千円	10,130千円 うち、交付対象事業費 10,130千円	3,960千円 うち、交付対象事業費 3,960千円

◆別添資料 1 現有施設位置図

【地域内における施設位置図】

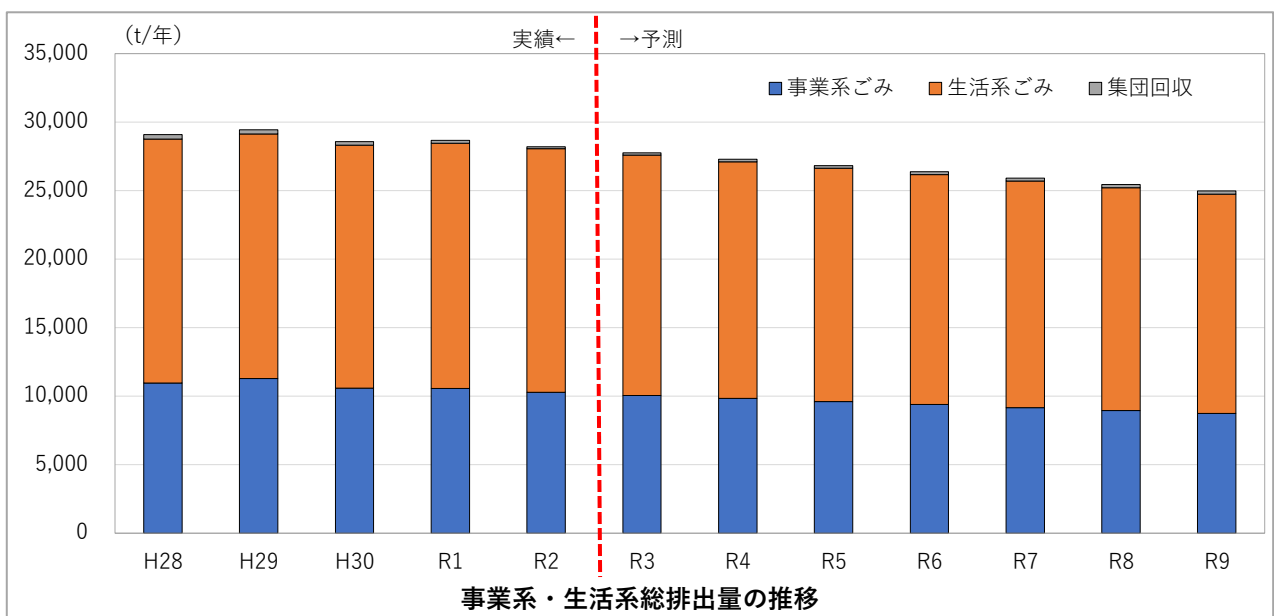
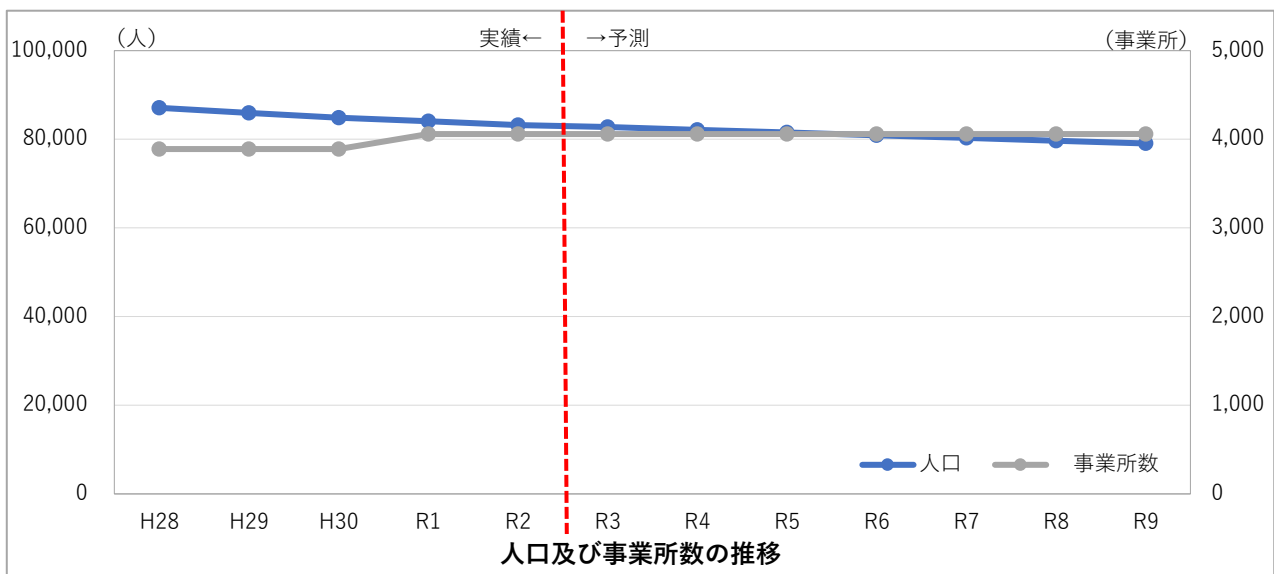


【鹿児島県における位置図】

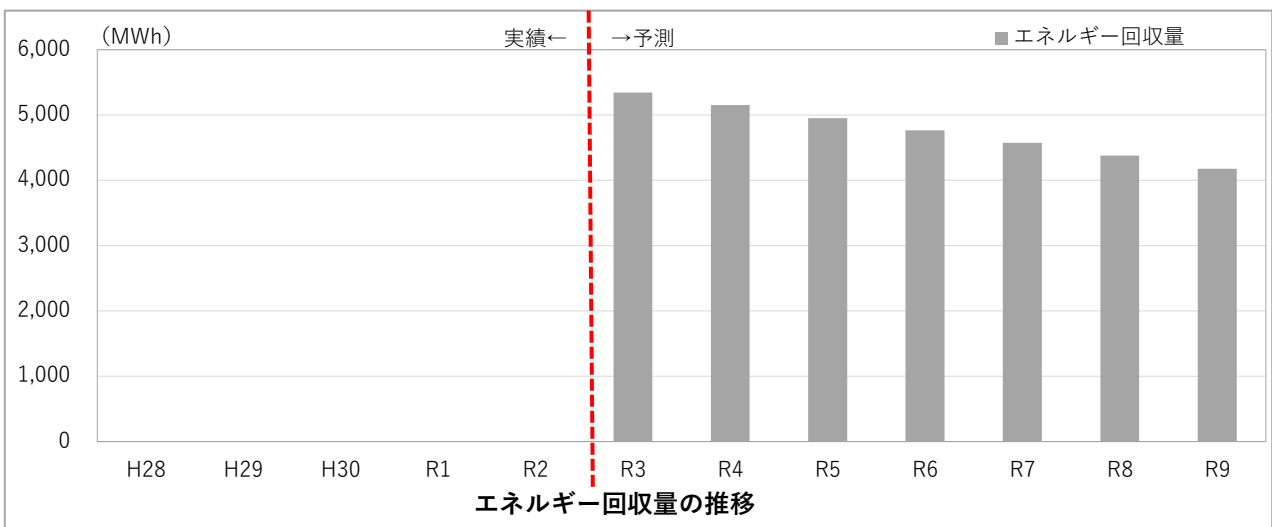
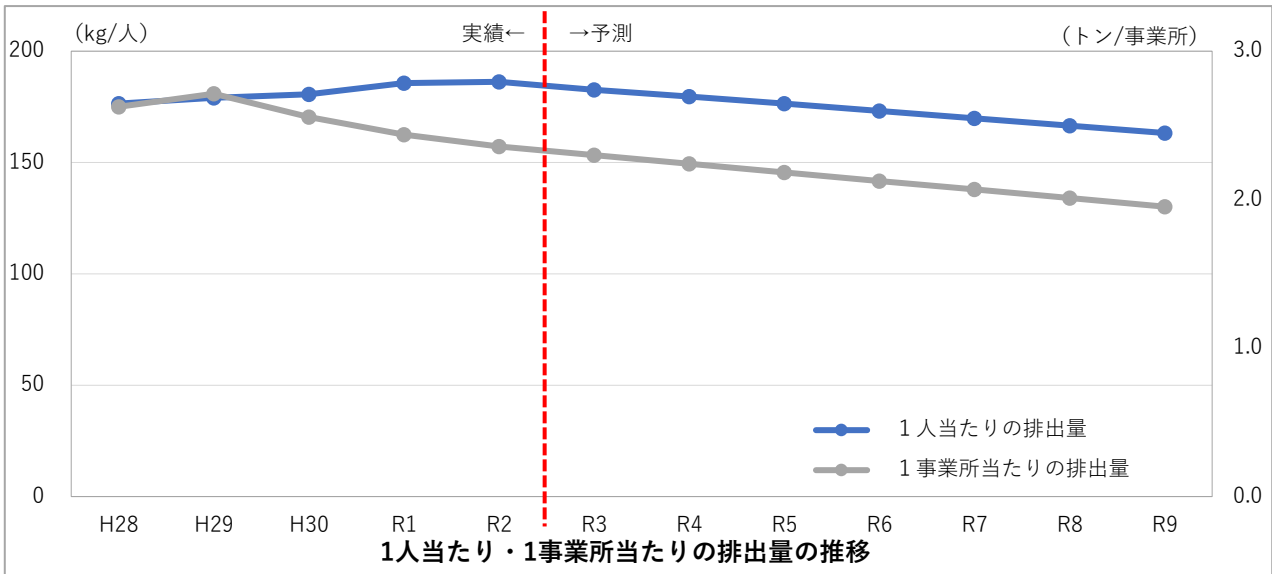
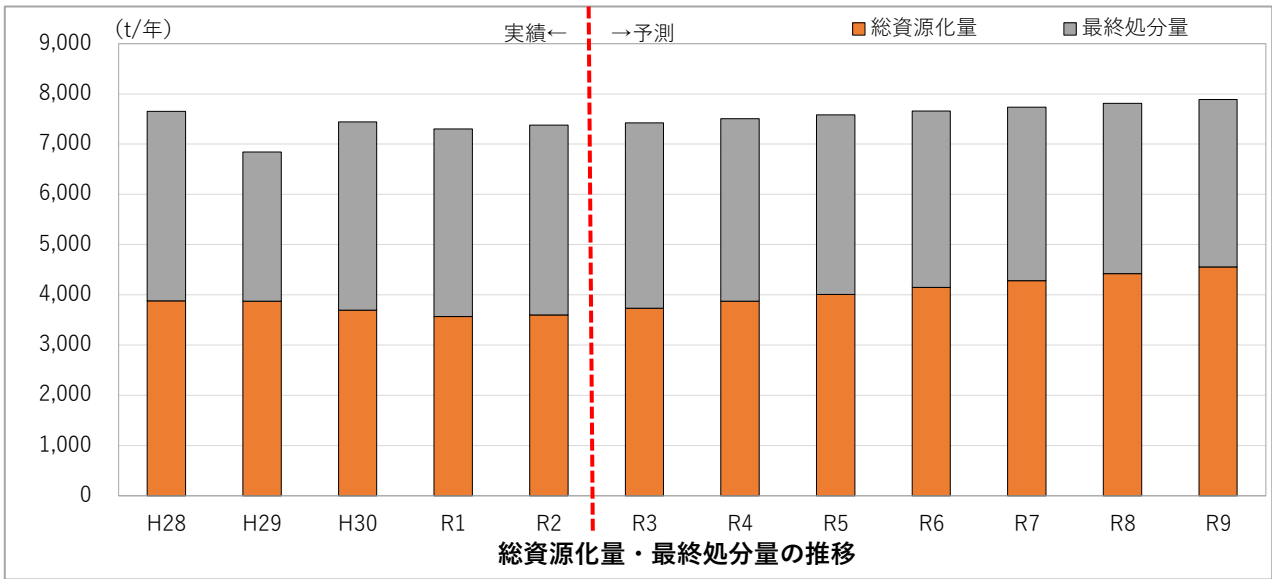


◆別添資料2 ごみの主な指標グラフ（その1）

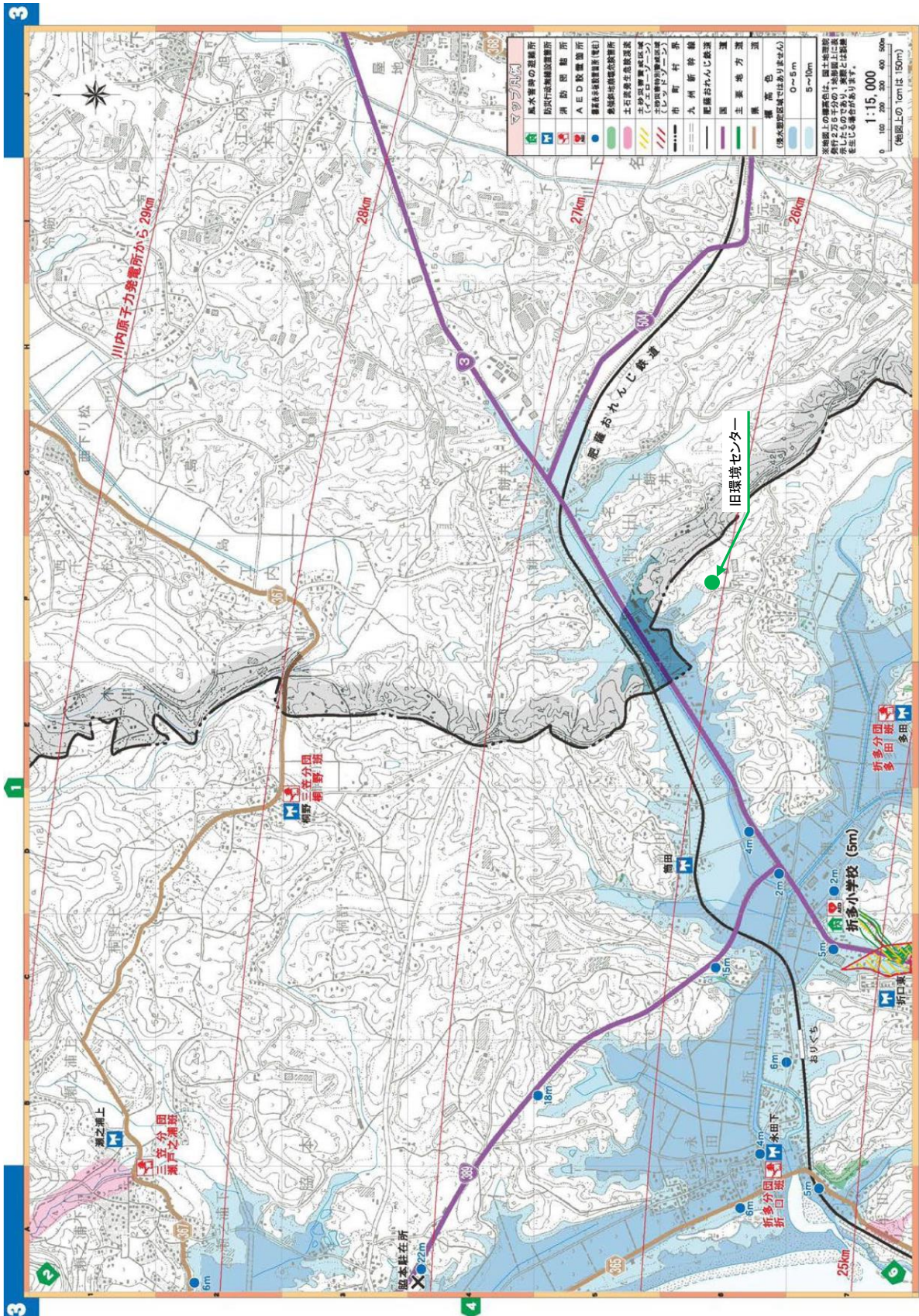
指標		実績					予測						
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
排 出 量	事業系 総排出量 (トン)	10,964.0	11,288.0	10,597.0	10,562.0	10,276.0	10,055.8	9,835.6	9,615.4	9,395.2	9,175.2	8,955.0	8,734.8
	事業所数	3,890	3,890	3,890	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059
	1事業所当たりの排出量 (トン/事業所)	2.6	2.7	2.6	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.0
	生活系 総排出量 (トン)	17,811.7	17,861.1	17,733.7	17,899.3	17,786.5	17,529.1	17,276.7	17,024.2	16,771.8	16,519.2	16,266.8	16,014.3
	人口 (人)	87,101	85,944	84,873	84,065	83,194	82,795	82,162	81,540	80,927	80,325	79,702	79,061
	1人当たりの排出量 (kg/人)	176.5	179.1	180.6	185.7	186.3	182.7	179.6	176.4	173.2	169.9	166.6	163.3
合 計	事業系生活系排出量合計 (トン)	28,775.7	29,149.1	28,330.7	28,461.3	28,062.5	27,584.9	27,112.3	26,639.6	26,167.0	25,694.4	25,221.8	24,749.1
	集团回収量を含む排出量 (トン)	29,081.3	29,435.5	28,567.5	28,671.1	28,220.0	27,754.4	27,293.8	26,833.2	26,372.6	25,912.0	25,451.4	24,990.8
再生利用量	直接資源化量 (トン)	1,725.2	1,562.7	1,476.6	1,382.4	1,375.7	1,477.0	1,560.5	1,643.7	1,727.2	1,810.5	1,894.0	1,977.4
	総資源化量 (トン)	3,878.8	3,871.7	3,698.7	3,565.8	3,599.3	3,734.8	3,871.9	4,009.1	4,146.2	4,283.4	4,420.6	4,557.7
エネルギー回 収 量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量 MWh)	-	-	-	-	-	5,344	5,151	4,951	4,765	4,573	4,379	4,180
減 量 化 量	減量化量 (中間処理前後の差 トン)	21,426.5	22,590.8	21,122.8	21,366.3	20,837.7	20,328.6	19,790.2	19,251.7	18,713.4	18,174.9	17,637.4	17,099.1
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	3,776.0	2,973.0	3,746.0	3,739.0	3,783.0	3,691.0	3,631.7	3,572.4	3,513.0	3,453.7	3,393.4	3,334.0
事業所数		3,890	3,890	3,890	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059	4,059
人口		87,101	85,944	84,873	84,065	83,194	82,795	82,162	81,540	80,927	80,325	79,702	79,061



◆別添資料2 ごみの主な指標グラフ（その2）



◆別添資料3 ハザードマップ（その1）【旧環境センター】



◆別添資料3 ハザードマップ(その2)【衛生センター】

### 土砂災害等防災マップ = 荘米ノ津・下水流小学校区 =

土砂災害警戒区域等は親月島県ホームページ(土砂災害警戒区域等マップ)でも御覧になれます。

### 衛生センター

1:30,000

**凡例**

- 指定避難所
- 大規模災害時避難所
- 福祉避難所
- 原子的災害時集合場所
- 水防倉庫
- 防災行政無線
- 入リポート
- 拠点病院
- 市町村界
- 小学校区界
- 鉄道
- 国道
- 主要地方道(県道)
- 広域農道
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊(特別警戒区域)
- 急傾斜地の崩壊(警戒区域)
- 土石流(特別警戒区域)
- 土石流(警戒区域)

**土砂災害等防災マップの見方**

5.0m	地図上の色
2階の階高以上が浸水	
2.0m	地図上の色
2階部分のみが浸水	
1.0m	地図上の色
1階部分のみが浸水	
0.5m	地図上の色
1階部分が浸水	
0m	地図上の色
浸水が確認になる	
0m	地下が浸水

**マップの使い方及記録**

- 自宅の位置を確認して、印をつけましょう。
- 自宅付近の避難所を確認しましょう。
- 避難所までのルートを確認し、避難経路を確保しましょう。
- 避難所までのルートを確認し、避難経路を確保しましょう。
- 避難所までのルートを確認し、避難経路を確保しましょう。
- 避難所までのルートを確認し、避難経路を確保しましょう。
- このマップを家族がよく目に付くところに置いておきましょう。

**我が家の防災メモ**

- 我が家の避難場所
- 家族の集合場所
- 家族の連絡先
- 家族の名前
- 血液型
- 電話番号
- 会社・学校等の連絡先

**指定避難所**

番号	施設名	住所	電話番号	災害種別	地(地蔵堂)
16	米ノ津中学校	出水市明神町100	0996-67-1055	水	土
17	米ノ津小学校	出水市下刈屋町1584	0996-67-1119	-	土
18	樋ノ江保戸園	出水市樋ノ江町1030	0996-67-2106	0	0
19	荘小学校	出水市荘1748	0996-82-0633	0	0
24	下水流小学校	出水市高尾野町下水流3164-7	0996-82-0039	0	0
25	下水流農業者トレーニングセンター	出水市高尾野町下水流3164-15	0996-82-0210	0	0

**原子的災害時避難所**

番号	集合場所	住所	電話番号	災害種別	地(地蔵堂)
E	荘運動場	出水市荘673	0996-63-2111 (出水市夜所)	水	土
F	下水流小学校	出水市高尾野町下水流3164-7	0996-82-0039	-	0
G	下水流農業者トレーニングセンター	出水市高尾野町下水流3164-15	0996-82-0210	-	0

**大規模災害時避難所**

番号	施設名	住所	電話番号	災害種別	地(地蔵堂)
43	出水商業高等学校	出水市明神町200	0996-67-1069	水	土
44	稲草園	出水市外見町93	0996-67-3161	水	土
48	出水看護学校	出水市文化町966	0996-63-3400	0	0

※緊急時以外は自家車等を利用する方が望ましい。

この図は、国土交通省の提供による。関係自治体の提供による。関係自治体の提供による。関係自治体の提供による。

発行：出水市 平成27年3月作成